

2 不登校に関すること等、困ったときには相談できる機関はたくさんあります

不登校等支援センター

「不登校等支援センター」では、次のような支援を行っています。

- ①市内の4か所に設置している「教育支援室」での支援
- ②一人一台のタブレットを活用した「オンライン支援室」での支援
- ③『社会的自立』を目指す『未来へのとびらオンライン授業』での支援

教育支援室

いじめ

人間関係

心身の不調

不登校



悩んでいませんか？
まずは、教育支援室へ
お電話ください！

～主なサポート内容～

- ・指導員による、「将来の社会的自立」と「自ら登校を希望した際の円滑な学校復帰」に向けた目標づくり
- ・子ども一人一人の状況に応じた個別対応
- ・心の専門家「カウンセラー」によるカウンセリング
- ・精神科医との面談
- ・自学自習の援助（個別・集団による学習活動）や1人1台タブレットを活用した学習支援
- ・集団活動（スポーツ活動、制作・栽培活動等）
- ・必要に応じた家庭や学校への訪問対応
- ・その他関係機関との連携

教育支援室は、学校以外での公的な学びの場や居場所です。

※教育支援室に通所して相談・指導を受けた日数は、指導要録上出席扱いとなります。

教育支援室は、小中学生に関する不登校等の相談を来所・電話により、子どもやその保護者、学校(教職員)、関係機関から受け、一緒に考えていく通所施設です。通所を希望される場合は、まずは学校(管理職・担任)にご相談又は、教育支援室にお電話ください。

まずは学校に相談
又は、教育支援室に電話



見学・面談



申請



通所



集団生活への適応、情緒の安定、基礎学力の補充、基本的な生活習慣の改善等を図ることで、不登校児童生徒の「将来の社会的自立」と「自ら登校を希望した際の円滑な学校復帰」を目指しています。

教育支援室 【開所時間 8:30～17:00】

くろさき教育支援室
☎093-631-7867

かなだ教育支援室
☎093-591-7867



あいおい教育支援室
☎093-641-1710

わかその教育支援室
☎093-941-7867

オンライン支援室 令和4年度から、始まります。

対象：北九州市立学校在籍で、子どもの状況や通所に時間がかかるなどにより、「教育支援室」に通所しなくても通所できない状態の中学生

オンラインによる「スクールカウンセラーやスクールソーシャルワーカーによる支援」や「未来へのとびらオンライン授業による支援」などを行います。未来へのとびらオンライン授業を受けた日数は、指導要録上出席扱いとなります。「オンライン支援室」での支援を希望される場合は、まずは学校(管理職・担任)にご相談ください。

●「学校以外の他の意見も聞いてみたい」「対応に困っている」というときは、電話・メールや公の機関での無料相談、病院でも相談できます。

子ども総合センター(児童相談所)

無料

18歳になるまでの子どもにおける心身の発達の遅れ、非行、不登校について相談でき、児童福祉司や児童心理司などの専門スタッフが対応します。相談は無料です。

場所

ウェルとばた(受付5F)

対象

18歳未満の子ども

相談方法

まずはお電話ください

☎093-881-4556

※面接が必要な場合は、日時の打ち合わせをいたします。



https://www.city.kitakyushu.lg.jp/ko-katei/file_0065.html

子ども・家庭相談コーナー

無料

いじめや不登校、非行など、子どもの教育や就学等について相談でき、社会福祉士や保育士等が対応します。

まずは、お気軽にご相談ください。相談は無料です。

場所

各区役所の保健福祉課

門司区	☎332-0115	八幡東区	☎661-0115
小倉北区	☎563-0115	八幡西区	☎642-0115
小倉南区	☎951-0115	戸畑区	☎881-0115
若松区	☎771-0115		

対象

児童・生徒、保護者

相談方法

電話または来庁

子どもや
家庭のことで
相談したいなあ…



https://www.city.kitakyushu.lg.jp/ko-katei/file_0063.html

不登校状態の子どもに寄り添った次への一步応援事業

【子ども家庭局青少年課】 ☎582-2392

無料

子どもや保護者の「心を元気にすること」を第一に考えながら、中学校卒業後のフォローも含め、次への一步を一緒に応援していきます。専門スタッフ(公認心理師等)の定期的な家庭訪問などを通して、一人ひとりに寄り添った支援を行います。

利用者の中には、自分の気持ちをしっかりと受け止めてもらうことで、高校への進学意識が芽生えたり、外出の機会が増えたりするケースもありました。また、物事に対する考え方が前向きになるなど、状況が好転したケースも多くあります。

対象

中学生とその保護者

申し込み

・年に2回程度、学校を経由して申し込みを受け付けます。

事業内容

- ・悩みを聞き、一緒に考える
- ・一緒に宿題をしたり、遊んだりする
- ・外出に同行する
- ・進路・就職と一緒に考える
- ・若者の応援機関へのつなぎ 等



例えば…

- 悩みを聞いてほしい
- 進路が不安
- 外出したい
- 就職を考えているけど
- …等

不登校への理解を深める講座 不登校の悩みを語り合う保護者の集い

無料

【子ども総合センター】

子どもも親も元気になることが大切です。子どもの心理を学んだり、お互いに悩みを語り合い、子どもへの接し方を考えたりしてみませんか？

開催日

年3回予定
※連続の講座ではありません。
1回のみ参加も可能です。

対象

- ・お子様の不登校や行き渋り
- ・ひきこもりなどに悩む保護者
- ・ご家族の方

保護者を
サポート

会場

ウェルとばた

申し込み

年に3回、学校からのお知らせがあります。

子ども・若者応援センター「YELL（エール）」

無料

若者の総合相談窓口

場所

ウェルとばた2F

対象

おおむね15歳～39歳

卒業後も
サポート

申し込み

- ・電話で予約 ☎882-0188
- ・本人だけでなく、保護者や支援者の相談も可能。

事業内容

- ・マンツーマンによる悩みや不安の解消支援
- ・各種社会参加プログラム紹介
- ・関係機関との連携支援 等



<https://www.yell-kitaq.com>

例えば…

- 相談できる人が近くにいない
- 対人関係が苦手
- コミュニケーション力を高めたい
- どこに相談したらいいの
- 仕事をしたいけど
- …等

ひきこもり地域支援センター「すてっぷ」

無料

社会的ひきこもりの相談窓口

場所

ウェルとばた2F

対象

おおむね18歳以上

卒業後も
サポート

申し込み

- ・まずは、お電話ください。☎873-3130
- ・来所や訪問は、事前予約が必要です。

事業内容

- ・相談（来所・電話・訪問）
- ・フリースペース ※参加費必要
（集まった人とお茶をしながらお話しできます）
- ・ギラヴァンツオープンマインドプログラム
（サッカーの応援やボランティアを体験）
- ・ひきこもりを考える集い 等



<http://www.step-kita.com>

例えば…

- 家から出られないけど、話をしたい
- 同じような体験をしている人と話をしたい
- 家以外の居場所が欲しい
- 本人にどのように接したらいいのか
（親が対応法を知りたい）
- このままだと将来が不安…
- …等

フリースクールの情報提供



フリースクールは、学校や教育支援室以外での学びの場や居場所の一つです。

フリースクールとの連携についての基本方針（北九州市教育委員会）

学校や教育委員会は、不登校児童生徒の「将来の社会的自立と自ら登校を希望した際の円滑な学校復帰」に向けた相互理解を深めながら、フリースクールと連携を行っています。



Q1 フリースクールには、どのような種類や違いがありますか？

A1 フリースクールは公的な教育機関ではないため、**理念や目的によって特徴や強み、受けられる支援内容、費用などが異なります。** フリースクールを選ぶ際は、本当に必要な支援を受けられるか、相性の良いフリースクールを検討することが大切です。



Q2 学校の出席扱いになりますか？

A2 学校がフリースクールと連絡を取り合いながら学習状況等を確認するなど、一定の要件のもとに在籍校の校長が認めた場合、**指導要録上出席扱いとして認められるようになっていきます。**



Q3 フリースクールに通うのに費用はかかりますか？

A3 NPO等の民間団体が運営していることから、**参加者が費用負担することとなります。** 費用の内容や支払い方法は、各フリースクールによって異なります。



Q4 通学定期乗車券を購入して通うことはできますか？

A4 フリースクールでの支援を指導要録上出席扱いと認められた場合、**通学定期乗車券制度を適用できます。**



各フリースクールの情報は、右記の2次元バーコードから「フリースクールについての情報提供～学校とフリースクールによる子どもたちへの支援のために～」(北九州市ホームページ)にアクセスすることで確認できます。



フリースクールでの学習を検討される場合は、まず学校にご相談ください。